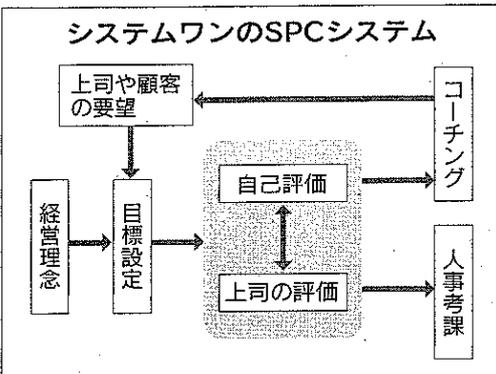


人事評価 中堅向けソフト

システムワン本人・上司が「対話」

システム開発のシステムワン(広島市)は中堅企業向けに人材育成や人事評価を支援するパッケージソフトを開発し、売り出す。社員の目標設定から管理者の評価までを共通のウェブサイトで「見える化」し、対話しながら経営目標に沿って指導するコーチングの手法で人材を育てる。成長途上の中堅企業は人事評価制度が未整備のところが多いとみて、手ごろな価格で導入できるシステムとして売り込む。

「SPC(スマートフォン)総合展2013」に出展して経営理念から導き出した企業の目標を設定。それを達成するために社員の業務内容や役割別に個々の理想の姿や取り組み



SPCシステムのサンプル画面



むべき行動を項目に分けてチェックシートとして、管理者はこれを日々見て指導に当たる。

一連の流れは全てウェブ上でいい、本人、上司とも進捗を随時チェックできる。目標の再確認が常にでき、継続的な指導につながるという。

自社向けに開発したシステムを活用した。中堅企業は人事評価をシステム化できていないところが多く、人事評価を社員の能力アップにどうつなげるかが共通の課題だ。

山口県は16日、県経済再生のため4月に設置した産業戦略本部の第3回全体合会の場で、医療関連産業の育成に向けて協議会を設立すると説明した。同県には武田薬品工業や田辺三菱製薬工場などが製造拠点を置き、テ

ト削減も狙って独自に自社システムを開発するより汎用ソフトを使う傾向が強まっている。このためシステム受託市場は厳しさを増しており、同社は今後パッケージ商品を強化する。これは約4億円。

医療産業育成へ推進協

企業・大学・病院の連携強化

山口県

SPCシステムは目標達成に向けた指導や人事評価を効率化でき、客観的な評価もしやすい。ウェブ化に伴いペーパーレス化も実現できる。

販売する際はパッケージソフトをベースに顧客ごとに手直しし、経営課題の設定やコーチングのためのコンサルティングにも応じる。

副部長の弘中勝久県公営企業管理者が就く。進出企業の工場長や山口大学の医学部と工学部の部長、同大医学部付属病院長、県産業技術センター

理事長らが幹事を務める。協議会の会員には医療関連企業や参入を希望する企業などを募集する。戦略本部会合では「医療関連産業には医薬品と機器があり、どちらを重点ターゲットにするか打ち出すべきだ」などの意見が出たという。

SPCシステム

日本経済新聞 掲載記事